



菅波 茂

2日、公設国際貢献大学校の海外訓練センターが、アフガニスタンに設立される可能性が現実的になった。記念すべき第一号である。来日したアフガニスタンのアフドラ外相と国際貢献大学校との間で文書が交わされた。03年3月までにアフガニスタン政府から複数の候補地が提示される。そして最終的に両者で場所を決定。04年以降に建設される予定である。地方自治体組織が直接に海外の政府と協力関係を結ぶ良きモデルである。

開設される国際協力専門要

員コースの特徴は何か。90年代のソマリア紛争解決が失敗に終わったのは、部族社会の理解が欠けていたからである。21世紀になつてイスラム地域での紛争が多発しており、イスラムへの理解が不可欠である。アフガニスタンの部族社会とイスラムを学ぶのが特徴の一つである。加えて「危機管理」である。日本国内では決して得られない教育環境である。教師陣は日本人や現地のアフガニスタン人に加え、国連および国際機関の関係者を考えている。コース修了者の世界各地での活躍が期待される。

国際貢献大学校アフガン訓練センター

彼らが長期間にわたるアフガニスタン復興に貢献することは当然である。

国際貢献大学校の運営を委託されているAMD

A国際福祉事業団が所属するAMDグループは98年、当時の北部同盟のアフドラ外務副大臣とタリバン政権のアッバス公共福祉大臣を別々に岡山に招き、「医療和平」構想に賛同を得ていた。昨年9月11日の米国同時多発テロをきっかけにした、アフガニスタンへの爆撃によりこの構想は頓挫した。

両者がAMD A提唱の医療和平のために岡山に来たのは①ワクチン接種により守る子どもの命の普遍的価値への共鳴②タ

リバン政権、北部同盟双方とのプロジェクトによるAMD Aへの信頼感③日本政府に対する期待感の三つの理由による。

国連NGOとしてのAMD Aグループの役割と、地方自治体組織としての国際貢献大学校の役割。NGOとしてのAMD Aは、「命の普遍性」に関する活動をする団体である。GO(公的組織)としての国際貢献大学校は、「国益を守る正統性」を有する組織である。両者の組み合わせは1+1=5になる不思議な組み合わせである。民設公営の世にも珍しい国際貢献大学校付属訓練センターが、近い将来に世界各地で果たす役割を大いに期待していただきたい。

(アジア医師連絡協議会代表、題字は筆者)